

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【公表番号】特表2008-531739(P2008-531739A)

【公表日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【年通号数】公開・登録公報2008-032

【出願番号】特願2008-500016(P2008-500016)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/76 (2006.01)

A 6 1 K 31/436 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/04 (2006.01)

C 1 2 N 7/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 31/436

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 31/12

A 6 1 K 45/00

C 1 2 Q 1/04

C 1 2 N 7/00

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月27日(2009.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

先天的な抗ウイルス応答を欠損した細胞を阻害するための組成物であって、粘液腫ウイルスとラパマイシンとの組み合わせを有効量含む、組成物。

【請求項 2】

前記細胞がインターフェロンに非応答性である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】

前記細胞が異常なインターフェロンシグナル伝達を示す、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 4】

前記細胞がヒト癌細胞である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 5】

前記粘液腫ウイルスが野生型ウイルスである、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 6】

前記粘液腫ウイルスが遺伝子改変されている、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 7】

前記粘液腫ウイルスが、治療用遺伝子を発現するよう遺伝子改変されている、請求項 6 記載の組成物。

【請求項 8】

前記細胞が肺癌細胞、黒色腫細胞、卵巣癌細胞、前立腺癌細胞、腎臓癌細胞、神経膠腫細胞、または星状細胞腫細胞である、請求項 4 記載の組成物。

【請求項 9】

前記細胞が慢性的にウイルスに感染したヒト細胞である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 10】

先天的な抗ウイルス応答を欠損した細胞が存在することを特徴とする病状を治療するための請求項 1～8のうちのいずれか1項に記載の組成物であって、粘液腫ウイルスとラパマイシンとの組み合わせを有効量含み、投与に適することを特徴とする、組成物。

【請求項 11】

前記病状が癌である、請求項 10 記載の組成物。

【請求項 12】

前記癌が固形癌、造血細胞癌、結腸癌、肺癌、腎臓癌、膵臓癌、子宮内膜癌、甲状腺癌、口腔癌、卵巣癌、喉頭癌、肝細胞癌、胆管癌、扁平上皮細胞癌、前立腺癌、乳癌、子宮頸癌、結腸直腸癌または黒色腫である、請求項 11 記載の組成物。

【請求項 13】

前記ウイルスと前記ラパマイシンは注射によって前記癌の部位に投与されることを特徴とする、請求項 10 記載の組成物。

【請求項 14】

前記ウイルスと前記ラパマイシンは全身に投与されることを特徴とする、請求項 10 記載の組成物。

【請求項 15】

先天的な抗ウイルス応答を欠損した細胞を阻害するための薬剤の製造における、有効量の粘液腫ウイルスとラパマイシンとの組み合わせの使用。

【請求項 16】

前記細胞がインターフェロン非応答性である、請求項 15 記載の使用。

【請求項 17】

前記細胞が異常なインターフェロンシグナル伝達を示す、請求項 15 記載の使用。

【請求項 18】

前記細胞が慢性的にウイルスに感染している、請求項 15 記載の使用。

【請求項 19】

前記細胞がヒト癌細胞である、請求項 15 記載の使用。

【請求項 20】

前記細胞が肺癌細胞、黒色腫細胞、腎臓癌細胞、神経膠腫細胞、または星状細胞腫細胞である、請求項 19 記載の使用。

【請求項 21】

前記粘液腫ウイルスが野生型ウイルスである、請求項 15 から 20 のいずれか一項記載の使用。

【請求項 22】

前記粘液腫ウイルスが遺伝子改変されている、請求項 15 から 20 のいずれか一項記載の使用。

【請求項 23】

前記粘液腫ウイルスが、治療用遺伝子を発現するよう遺伝子改変されている、請求項 22 記載の使用。

【請求項 24】

患者における病状を治療するための請求項 15～23のうちのいずれか1項に記載の使用であって、該病状は、先天的な抗ウイルス応答を欠損した細胞が患者に存在することを特徴とする、使用。

【請求項 25】

前記病状が癌である、請求項 24 記載の使用。

【請求項 26】

前記癌が固形癌、造血細胞癌、結腸癌、肺癌、腎臓癌、膵臓癌、子宮内膜癌、甲状腺癌、口腔癌、卵巣癌、喉頭癌、肝細胞癌、胆管癌、扁平上皮細胞癌、前立腺癌、乳癌、子宮頸癌、結腸直腸癌または黒色腫である、請求項 2 5 記載の使用。

【請求項 2 7】

機能的な M 1 3 5 R を発現しない有効量の粘液腫ウイルスを、随意で有効量のラパマイシンと組み合わせて含む、先天的な抗ウイルス応答を欠損した細胞を阻害するための組成物。

【請求項 2 8】

前記細胞がインターフェロンに非応答性である、請求項 2 7 記載の組成物。

【請求項 2 9】

前記細胞が異常なインターフェロンシグナル伝達を示す、請求項 2 7 記載の組成物。

【請求項 3 0】

前記細胞がヒト癌細胞である、請求項 2 7 記載の組成物。

【請求項 3 1】

前記粘液腫ウイルスが、治療用遺伝子を発現するよう遺伝子改変されている、請求項 2 7 記載の組成物。

【請求項 3 2】

前記細胞が肺癌細胞、黒色腫細胞、卵巣癌細胞、前立腺癌細胞、腎臓癌細胞、神経膠腫細胞、または星状細胞腫細胞である、請求項 3 0 記載の組成物。

【請求項 3 3】

前記細胞が慢性的にウイルスに感染しているヒト細胞である、請求項 2 7 記載の組成物。

【請求項 3 4】

先天的な抗ウイルス応答を欠損した細胞が存在することを特徴とする病状を治療するための 請求項 2 7 ~ 3 3 のうちのいずれか 1 項に記載の組成物であって、機能的な M 1 3 5 R を発現しない有効量の粘液腫ウイルスを含み、投与に適することを特徴とする、組成物。

【請求項 3 5】

さらに、有効量のラパマイシンを含む、請求項 3 4 記載の組成物。

【請求項 3 6】

前記癌が固形癌、造血細胞癌、結腸癌、肺癌、腎臓癌、膵臓癌、子宮内膜癌、甲状腺癌、口腔癌、卵巣癌、喉頭癌、肝細胞癌、胆管癌、扁平上皮細胞癌、前立腺癌、乳癌、子宮頸癌、結腸直腸癌または黒色腫である、請求項 3 0 または 3 4 に記載の組成物。

【請求項 3 7】

前記組成物は、前記癌の部位に注射することによる投与に適する ことを特徴とする、請求項 3 4 または 3 5 記載の組成物。

【請求項 3 8】

前記組成物は、全身性の投与に適する ことを特徴とする、請求項 3 4 または 3 5 記載の組成物。

【請求項 3 9】

機能的な M 1 3 5 R を発現しない粘液腫ウイルスの有効量の使用。

【請求項 4 0】

有効量のラパマイシンとさらに 組み合わせた、請求項 3 9 記載の使用。

【請求項 4 1】

先天的な抗ウイルス応答を欠損した細胞を阻害するための薬剤を製造するための、請求項 3 9 に記載の使用。

【請求項 4 2】

前記薬剤が、有効量のラパマイシンと 組み合わせて投与されるように処方されている、請求項 4 1 記載の使用。

【請求項 4 3】

前記細胞がインターフェロンに非応答性である、請求項 3 9 から 4 2 のいずれか一項記載の使用。

【請求項 4 4】

前記細胞が異常なインターフェロンシグナル伝達を示す、請求項 4 1 記載の使用。

【請求項 4 5】

前記細胞が慢性的にウイルスに感染している、請求項 4 1 記載の使用。

【請求項 4 6】

前記細胞がヒト癌細胞である、請求項 4 1 記載の使用。

【請求項 4 7】

前記細胞が肺癌細胞、黒色腫細胞、腎臓癌細胞、神経膠腫細胞、または星状細胞腫細胞である、請求項 4 6 記載の使用。

【請求項 4 8】

前記粘液腫ウイルスが、治療用遺伝子を発現するよう遺伝子改変されている、請求項 3 9 から 4 7 のいずれか一項記載の使用。

【請求項 4 9】

患者における病状を治療するための薬剤の製造のための請求項 4 1 ~ 4 8 のうちのいずれか 1 項に記載の使用であって、該病状は、先天的な抗ウイルス応答を欠損した細胞が存在することを特徴とする、使用。

【請求項 5 0】

前記癌が固形癌、造血細胞癌、結腸癌、肺癌、腎臓癌、膵臓癌、子宮内膜癌、甲状腺癌、口腔癌、卵巣癌、喉頭癌、肝細胞癌、胆管癌、扁平上皮細胞癌、前立腺癌、乳癌、子宮頸癌、結腸直腸癌または黒色腫である、請求項 4 6 または 4 9 に記載の使用。

【請求項 5 1】

機能的な M 1 3 5 R を発現しない粘液腫ウイルス。

【請求項 5 2】

請求項 5 1 に記載の粘液腫ウイルスを含む、医薬組成物。

【請求項 5 3】

さらにラパマイシンを含む、請求項 5 2 記載の医薬組成物。

【請求項 5 4】

さらに付加的治療薬を含む、請求項 5 2 記載の医薬組成物。

【請求項 5 5】

前記付加的治療薬が化学療法薬である、請求項 5 2 記載の医薬組成物。